

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

時を守り、場を清め、礼を正す

明けましておめでとうございます。皆さんも心新たに新年を迎えたことと思います。

2020 年の干支は「子年（ねどし）」で、動物でいうとネズミに当たります。しかし、本来、干支は「十干」と「十二支」を組み合わせたものを指します。従って、正確には「庚子（かのえ・ね）」となります。 ※1 年前に発行した第 34 号の「干支のはなし」を参照してください。

「子、丑、寅……」でわかるように十二支は「子」から始まります。なぜネズミが最初なのかというのは諸説ありますが、そのうちの一つを紹介します。

十二支の動物が順番を決めるレースをして、足の遅いウシが早めに出発してあと少しでゴールという時に、ウシの頭に乗っていたネズミが飛び降りてネズミが一番になりました。このようにネズミは少しずる賢いイメージがありますが、ミッキーマウスに代表されるように可愛らしいイメージもありますね。

子年には増えるという意味合いがあり、草木の生命を始めとした命が誕生しようとする意味があります。このことから、「庚子年」は動きがあり新しいものを作ろうとされる年とされています。今年も、色んなことにチャレンジしてみてください。

年頭に当たり、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉をもとに自分自身を見つめて欲しいと思います。この言葉は、教育学者の森信三先生が職場再建の 3 原則として提唱されました。学校は職場ではありませんが、この 3 原則は皆さんが将来に向け、身に付けて欲しい行動規範だと思います。

「時を守り」とは、**時間や期限を守る**ということです。時間を守ることは、相手の時間を大切にすることで、結果として相手を尊重することです。そして、それにより自分の信用を積み重ねることにつながります。普段の学校生活を考えてみてください。朝の登校、チャイム着席、提出物の期限を守る……等、時間ギリギリに行動することのないようにしてください。

「場を清め」とは、**3S（掃除、整理、整頓）**です。その意味は次の 5K で表されます。気づく人になれる、心を磨く、謙虚になれる、感動の心をはぐくむ、感謝の心がめばえる、ということです。学校での自分の身の回りを考えてください。掃除、ロッカーや机の中の整理整頓を心掛けてください。

「礼を正す」とは、**挨拶をすること、返事をする**ことです。挨拶は相手の人に心を開くという事で、人間関係を構築する基本です。返事も同じで、気持ちの良い返事をすれば人間関係がよくなります。明るく元気よく挨拶や返事をできるようにしていきたいものです。

会社の経営者から、従業員の課題として上記の 3 つがよく出てくるそうです。「机の上がかたづいていない」「時間ギリギリで余裕がない」「呼ばれても返事をしない」などの行動は、相手に不信感をあたえてしまうでしょう。

自分の将来のために、すべての人が気持ちよく学校生活を送るために、今日から「時を守り、場を清め、礼を正す」を実践していきましょう。